



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」



千葉県NPO・ボランティア情報ネット
<http://www.chiba-npo.jp/>

千葉県環境生活部県民交流・文化課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL.043-223-4147



あなたもボランティア活動に参加しませんか。

このボランティアガイドブックは、
ボランティア活動を始めると、手引きとなる便利な一冊です。
気になるページから読み進んでいただき、ボランティア活動を
長く続ける指針としてお役立ていただけたら幸いです。



知っておきたいボランティアの
あれこれ

3~4 ページ

知っているようで知らないボランティアのことを
分かりやすく紹介しています。

- ◎ボランティアの4原則
- ◎ボランティアの活動分野
- ◎NPO法人とボランティア団体 等

今すぐボランティアを始めたいあなたへ

18 ページ

このページは何度も読み返して、
しっかりと心に留めてください。

- ◎ボランティアの心得
- ◎災害時ボランティアの注意点

19 ページ

万に備えて、ご加入をおすすめします。

- ◎ボランティア活動保険 等

21~22 ページ

ボランティアに関する情報提供や
ボランティア希望の相談に応じています。

- ◎「ボランティアセンター」一覧
- ◎「市町村市民活動支援センター」一覧

先輩ボランティアからの
アドバイスと励ましの言葉

5~6 ページ

長くボランティアを続けてきた先輩ボランティアの言葉
には、重みと深みがあります。心に響くメッセージを見
つけたら、写真左下に記載してあるページへ。先輩ボラ
ンティアの活動記事が読めます。

◎22名の先輩ボランティアからのメッセージ

インタビューでつづる
先輩ボランティアの活動記事

7~16 ページ

さまざまな分野にわたるボランティア活動。ボランティア
活動を実践されている方々の生の声を通じて、活動内容や
やりがいを知ることができます。

- ◎ボランティアを始めたきっかけは？
- ◎どのような活動をされていますか？
- ◎やりがいを感じていることは？
- ◎活動するにあたって気をつけていることは？

つながって、みんなで支える
これからのボランティア活動

17 ページ

都市化する生活、増える高齢者世帯。制度に基づく福祉では
カバーしきれない問題が次々と発生しています。これらの問
題解決には、多くの団体が互いに連携し、ネットワークを組
んで取り組んでいくことがとても重要になってきています。

- ◎地域における様々な主体の連携
- ◎ネットワークのイメージ図

時間がないあなたにできる
ボランティア

20 ページ

寄付は、ボランティア活動をサポートする資金に役立てら
れます。額の多寡は問題ではありません。あなたの「思い」
をできることから地域に届けましょう。

- ◎ちばのWA地域づくり基金
- ◎赤い羽根共同募金



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

「ボランティア活動」を始めませんか!

2011年3月に起きた東日本大震災における復旧・復興支援に、全国から多くのボランティアが駆けつけました。
また、オリンピックなどの大きなスポーツ大会でも、世界中から集まったボランティアが大会の運営を支えています。
ですが、ボランティアの活躍の場は、何もこのような一大事ばかりではありません。今日も、私たちの身近な場所で数多くのボランティアが活動しています。



ボランティアさんは、ボクたちの暮らしを、社会を、明日をもっと豊かにするために、ボクたちの身近な場所で活動しています。

あなたの身の回りにも、実はボランティアがいっぱい!!

「ボランティア」とは

ボランティアとは、「自ら進んで(自発的に)、お金をもらわずに(原則無償で)、みんなのために(利他的に)役立つこと(社会貢献活動)をする人(個人)」のことです。その語源は、自由意志を意味するラテン語「ボランタス」だといわれています。

ボランティアは、社会の様々な場面で活躍しています。例えば、市町村の社会福祉協議会には福祉分野を中心に多くのボランティア団体が登録され、地域で活動を続けています。NPO法人のスタッフとして活動する人も多数存在します。一方地域のコミュニティでは、防犯や防災、子どものスポーツ活動、地区社会福祉協議会やPTAなど、様々な分野・団体においてボランティアが活躍しています。実は、世の中の多くの場面で、ボランティアが社会を支えています。

ボランティアの特徴として、自発性、無償性、利他性に加えて、日々変化する地域の問題に対応し、誰よりも早く問題解決に取り組む(先駆性)ことがあげられます。この4つを「ボランティアの4原則」と言います。

〔ボランティアの4原則〕

自発性

強制ではない

無償性

報酬を目的としない

利他性

公益を目的とし、私益を目的としない

先駆性

先見、創造的で開拓精神に富む

Point 1

ボランティアでは、「自ら進んで行く」という気持ちがとても大切。

Point 2

ボランティアは、地域の様々な場面、分野で活躍している。

お互いに支えあい、助け合って、もっと豊かに暮らせる社会が創れたらいいね。



※ボランティアの4原則については、「自発性」は「主体性」、「無償性」は「無給性」、「利他性」は「社会性」、「先駆性」は「創造性」など、他の表現がなされる場合があります。

支えあいの気持ちが、ボランティア活動のはじまりです!!

ボランティアの活動分野

私たちの社会は、自分を中心に、家族や親族、近隣の人々、地域の人々、日本に住む人々、地球上で暮らす人々という具合に、人間関係が広がっています。

本来なら、密接な関係にあるはずの近隣の人々、地域の人々とのコミュニケーションや絆が希薄になってしまっているのが、今日の日本です。まずは、顔見知りになり、挨拶を交わし、困った時は助け合う。この助け合いこそが、ボランティアの始まり。

身近で気づいたことに対して、解決方法や改善策を見つけることや、趣味などを活かして人を喜ばせたりすることから、ボランティア活動ははじまります。



社会福祉 高齢者支援、障がい者支援、手話、点訳 etc.

環境保全 自然保護、森林保全、緑化推進、環境美化 etc.

医療・保健 入院患者へのサポート、献血、骨髄バンク etc.

安心安全 防犯活動、防災活動、災害時の支援 etc.

教育関係 青少年の健全育成、育児支援、学童保育 etc.

スポーツ スポーツ指導、障がい者スポーツへのサポート etc.

国際協力 国際交流、海外協力、在日外国人への支援 etc.

その他 あらゆる分野

芸術・文化 地域文化の継承・育成、各種公演・展示 etc.

ボランティア活動にどうやって参加したらいいの?

ボランティアは「自発的に原則無償で利他的に社会貢献活動をする個人」のことですが、実際にひとりで活動することはめったになく、その多くは団体・組織やグループで活動しています。「ボランティア活動をしたい!」と思ったら、自分の希望する分野を選んで、団体の活動に参加するのが近道です。

ボランティア活動の主体となっている団体は、NPO法人やボランティア団体(任意団体)などがあります。

ひとりの力には限りがあります。NPO法人やボランティア団体に参加することで、活動の範囲や幅が広がり、より大きな力が発揮できるようになります。



NPO法人

特定非営利活動促進法によって法人格を与えられた市民活動団体。事業性が強く有償のスタッフがいる場合もあるが、ボランティアがその活動を支えている場合が多い。

ボランティア団体

ボランティア活動を行うことを目的に設置された団体。その多くは任意団体で、福祉分野を中心に、市町村社会福祉協議会のボランティアセンター等に登録して活動している団体が多い。

自分が楽しめる ボランティアを探すと。



〈高齢者支援〉八街市の橋場さん
ボランティアにはいろいろなものがあるの、好きな事から始めるのが良いと思います。楽しくなくては続けられないのですから。

好きが一番。



〈高齢者支援〉白井市の鶴岡さん
資格がなくても大丈夫。興味を持ったことに対して、楽しく活動を続けてください。



〈居場所づくり事業〉四街道市の高木さん
ボランティアは人を助けることだけではなく、自分も助けてもらっています。私の場合、ボランティアを通じて地域のコミュニティに溶け込むことができました。

ボランティアは自分を助けること。踏み込んでみては、いかがでしょうか。



〈障がい者支援〉千葉市の富田さん
責任をもってボランティアを続ける日々の中で、自分自身が磨かれ輝いてくるのを実感されると思います。

少しのことでもくじけず、細く・長く続けてください。



自分にあったボランティアを見つけください。

〈障がい者支援〉千葉市の服部さん
ボランティアといえども責任はあり、空いている時だけというわけにはいきません。だから、合わないところに参加するのは苦痛です。いろいろ試してください。

張り切り過ぎずに、あせらないこと。



〈子育て支援〉習志野市の矢作さん
ゆっくり、のんびりと構えていると、賛同者や利用者が増えてくるものです。



仲間とのつきあいは誠実に。

〈子育て支援〉千葉市の中津さん
激論してもいいから思いは伝える。そのかわり決まったことは守る。この誠実さが大切。



保護者の気持ちを持っていれば、誰でもできます。

〈青少年の健全育成〉浦安市の古越さん
ボーイスカウト講習会をうければ、誰でも活動できます。ボーイスカウトには様々な技能章が設定されていますが、これを審査する人材は不足。例えば車の整備など、現在のキャリアが活かせる活動がいろいろあります。



人を好きになること。

〈障がい者支援〉松戸市の米谷さん
自分が不得手だと思って引っ込んでしまったらそれまで。積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちが大切。余暇・余力を何らかの形で地域に生かしてみたいかがでしょうか。

これまでのキャリア、もつたないから社会に還元しましょう。



〈子育て支援〉茂原市の岡崎さん
ボランティアといえども、互いにメリットがないと続きません。これまでのキャリアを生かし、ありがとうといってもらえる場があるのはとても幸せなことです。

ボランティアをすればコネクションが広がります。

〈青少年の健全育成〉東京都江東区のデイヴィッドさん
コネクションとは、関係やつながり。友達が増えて人間関係が豊かになり、活動の幅も広がり、仕事も増えてきます。いろいろと物事がうまく運ぶようになります。



視野が広がるチャンスです。



〈命を守る〉千葉市の匿名希望さん
日常生活とは全くかけ離れた部分でお友達ができ、視野が広がりました。発見があったり、気づきがあったり、いろいろなチャンスにも恵まれます。



なるべくこういう会に参加してください。
〈命を守る〉市川市の伊東さん
パトロールの間、一緒に活動する仲間といろいろな話ができるのはとても楽しいこと。男の人とか女の人とかの区別なく、たくさんの仲間ができました。



〈環境保全〉いすみ市の橋本さん
地域で暮らす人々のなごやかな輪が広がるような、そんなボランティアはいかがでしょうか。お友達を作りたい、地域交流したいという方におすすめです。

何をやって良いかわからないという方へ、地域交流型ボランティアはいかがでしょうか。



〈環境保全〉市原市の鶴岡さん
宝石ではないけれど、森は手をかけることで宝になります。癒しの森は、人々の交流を深めてくれる。悩んでいる人も、助け合って一緒に行動すれば悩みも消えます。



〈歴史・まちづくり〉南房総市の櫛原さん
自分の思いでやっているの、相手の思いを期待しないこと。受け入れられた時は嬉しいけど、受け入れられないこともあります。



〈外国人の子ども支援〉松戸市の海老名さん
相手のために何が出来るか、何をすればいいのかを、考えることから始めてください。

自然は宝。

あなたもボランティアの輪に加わりませんか!!

ボランティアを始めよう
先輩ボランティア
アドバイスと励
と考えているあなたへ。
からいただいた
ましの言葉です。



〈防犯・防災〉佐倉市の小澤さん
難しく考えず、まずは一歩踏み出す。後は、仲間と一緒に歩いて行きますから。

まずは最初の一歩を。



〈防犯・防災〉印旛郡栄町の山本さん
地域の方々との信頼関係を築くためには、続けることが大切だと実感しています。



人が嫌がることはしないこと。

〈地域福祉〉松戸市の大和田さん
プライバシーを尊重しつつ、ボランティアとして適切なコミュニケーションを心がけることが大切だと思います。

じっくり自然で良いと思う。



〈地域福祉〉市原市の中さん
ボランティアはその人の心。やってやろうという気が起きないと続かない。だから、あの姿を見てやってやろうと思ってもらえるよう、我々も頑張っています。

〈地域福祉〉松戸市の藤原さん
お年を召した方から貴重な体験を聞いたり、ひとり暮らしをされている男性の方から生活の知恵を教えていただいたり、皆さんからいろいろな話を聞くことができ、勉強になります。



長く続けると、良いことがたくさんあります。



ささえあう
〈高齢者支援〉



八街市

ボランティアをさせてもらっていると思っています。

「傾聴ボランティア クローバーの会」でボランティアをしている橋場さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

自分の勉強になると思ったからです。20年くらい前、公民館でやっていたボランティア講座に参加したのが初めて。施設で歌をうたったり、花を植えたり、いろいろなことをやりました。傾聴は、社会福祉協議会のカウンセリング講座に参加したのがきっかけです。講座が終わり、傾聴についてもっと勉強を続けたいと思った人たちが、この「クローバーの会」を結成しました。

どのような活動をされていますか？

最初は施設でお話し相手をしていました。平成23年の秋からは、個人宅にお

伺いして話を聞くことを始めました。民生委員さんのご協力もあり、この方はお話し相手がいの方がいいんじゃないかという方を紹介してもらっています。主に一人暮らしの方や在宅がちな方、80歳くらいのご夫婦のご利用が多いです。

やりがいを感じていることは？

お話しすることで、生活にハリや楽しみができればいいと思っています。自分が年をとるうえで、こういうふうな年を重ねたいとか、プラスになっています。私の場合、ボランティアはさせてもらっているという感じで、自分が楽しく、自分も頑張ろうと思うことがわかります。

活動するにあたって
気をつけていることは？

その場によって臨機応変ですが、あまりしゃべり過ぎないようにしています。気にするような言葉、傷つけるような言葉も口にしないように努めています。話をしている方の気持ちに寄り添うというのが、一番大事だと思っています。



ささえあう
〈高齢者支援〉



白井市

次から次へと、興味を持ったことに挑戦しています。

「ボランティアグループ緑の風」の代表をしている鶴岡さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

まわりに地域で活動されている方が多く、子育てが終わって何かできないかと平成3年に「緑の風」を立ち上げ、廃品回収で市の奨励金をためて小中学校に花の種を寄付しました。作ることが好きだったので、お菓子やコースージュを作る講座も開きました。小さな子ども連れて参加できないお母さんのために、保育ボランティアも始めました。

どのような活動をされていますか？

現在はおもちゃの図書館に所属し、小さいお子様から高齢者の方までを対象に、おもちゃで指先のトレーニング

や、手作りおもちゃ教室を開催しています。電池がないとおもちゃが壊れたという時代だからこそ、親子、お祖父ちゃんお祖母ちゃんと一緒に、作る楽しさ、遊ぶ楽しさを知って欲しいと思います。

やりがいを感じていることは？

手作りおもちゃ教室で、予想を越える作品を作っていただくと嬉しくなります。いろいろなことに興味があり、毎年、目標を決めて活動しています。また、高齢者支援活動として平成18年から始めた白井市ボランティア連絡協議会自主事業・認知症予防のための「白井脳いきいき教室」の総括も務めています。

活動するにあたって
気をつけていることは？

ボランティア活動って、時代と共に変化していると思います。今、何が必要なのかっていつも考えています。また、長く活動していると慣れがでてきてしまうので、初心を忘れないようにしています。



ささえあう
〈居場所づくり事業〉



四街道市

ボランティアを通じて、地元で溶け込むことができました。

NPO法人 たすけあいの会ふきのとう
「コミュニティ喫茶 樺」でボランティアをしている高木さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

平成23年6月、世田谷区から娘の住む四街道市に転入してきました。ですから、この地に知り合いはまったくいません。地元で溶け込むため、娘にすすめられるまま「ふきのとう」が企画しているボランティア講習会に参加。「コミュニティ喫茶 樺」は、その時の実習で訪れたのがきっかけで、ボランティアとして参加するようになりました。

どのような活動をされていますか？

喫茶ですが、昼食の時間に合わせて食事の用意もしています。炊事は女性が担当しますが、力仕事は男性の担当。

まず、倉庫からテーブルやイスを運んで会場の準備をします。営業時間中は配膳をします。昼食の時間が過ぎて余裕があるときは、利用者の話し相手をすることもあります。

やりがいを感じていることは？

帰り際に「来週もまた来てね、来てく

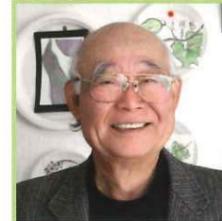


れないと泣くから」なんて必ず言ってくれる利用者さんもいるので、それがここに来る励みになっています。頼られている喜びを感じることができるので、来たくないと思ったことは一度もありません。

活動するにあたって
気をつけていることは？

「コミュニティ喫茶 樺」は、高齢者はもちろんどなたでも利用できる場所です。利用者にも様々な人がいますから余計な関与はしないようにしています。高齢者の利用が多いので安全には十分に気を配ります。そして、居心地が良い場所であるよう、適切な距離感をもって接するようにしています。

<http://www7.ocn.ne.jp/~fukinoto/>



ささえあう
〈障がい者支援〉



松戸市

お互いに助け合おうという精神で、利用者にメリットを。

認定NPO法人「たすけあいの会 ふれあいネットまつど」でボランティアをしている米谷さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

松戸市環境部の地域環境調査員をしていまして、その中のひとりがふれあいネットまつどの理事さんで、お誘いを受けたのがこの会を知るきっかけです。市内を送り迎えするだけなら自分にも出来ると思って、平成20年からお手伝いしています。

どのような活動をされていますか？

週に3・4回、障がい者や高齢者など、外出に不安を感じている方をドアツードアで送り迎えしています。利用者の方は、ふれあいネットまつどのコーディネーターがあらかじめ調整してくれて

いて、1回目の時は事務局の人が一緒に行って顔合わせをします。2回目からは誰々の所に行ってくださいと指示が入ります。玄関まで迎えに行き、必要であれば介助をしますし、乗車を手伝ったりもします。いつも決まった方に送迎してもらえるので、利用される方も安心なんじゃないでしょうか。

やりがいを感じていることは？

松戸市内なら距離を問わず、会が発行する「ふれあいチケット」10点(=1000円)で利用できますから、タクシーと比べ経済的負担が少なく済みます。お互いに助け合おうという精神で始められたふれあいネットまつどの存在は、大きなメリットだと思います。松戸の

地理にも詳しくなり、良さも再認識しています。

活動するにあたって
気をつけていることは？

しゃべりすぎてもいけないし、寡黙すぎてもいけない。少しの時間でもリラックスして乗ってもらえるよう、クラシックや歌曲などのCDも用意しています。

<http://fnm2011.okoshi-yasu.com/>





ささえあう
(障がい者支援) 千葉市

リスナーの方々から沢山のことを学ばせてもらっています。

「グループともしび」でボランティアをしている富田さんと服部さん

ボランティアを始めたきっかけは？

〈富田〉子どもが社会人になり、専業主婦だった私でも社会に出て何かの役に立てればと思い立った時、巡り会ったのが朗読ボランティアでした。私のやりたいことはこれだと「ともしび」に入会し、もう20年以上になります。
〈服部〉保育施設や福祉作業所などでボランティアをしたこともありましたが定着しませんでした。そんな時、友達に誘われて「ともしび」を訪ねたのが入会のきっかけ。もう5年続いています。

どのような活動をされていますか？

視覚障がいの方に、文字を音声化CD

やテープで届ける朗読ボランティアをしています。県民日よりや市政だよりの他、折々の話題を集めたオリジナルの情報紙、個人依頼された図書などの朗読を行っています。グループでの録音以外に、個人々々が自宅でも「依頼図書・新聞等」の収録をしています。

やりがいを感じていることは？

〈富田〉声を届けるボランティアですが、反対にリスナーの方々から沢山のことをいただいている気がします。感想のテープや短歌など、とても有り難く嬉しいことです。
〈服部〉居心地が良く、楽しく参加しています。リスナーのお手紙も励みになっています。

活動するにあたって気をつけていることは？

〈富田〉視覚障がいになった経緯などを訊ねないこと。自然体で臨む努力は怠らないこと。それが、ボランティアを長く続ける秘訣だと思います。
〈服部〉アクセントに気をつけています。言葉を大切にできるようになりました。



はぐくむ
(子育て支援) 茂原市

親子でまた来たいと思ってもらえる場所にしたい。

「茂原おもちゃ図書館 チューリップ」の代表をしている岡崎さん

ボランティアを始めたきっかけは？

定年退職をする前は小学校の教員で、特別支援学級の担任をしていました。知的障がい・情緒障がいの子どもを受け持つ中、一般社会の中でこの子どもが安心して遊びに行ける場所がないことに気づきました。退職後、自分が身につけたキャリアを社会に還元したいとの思いからボランティア養成講座を受け、平成15年10月に茂原おもちゃ図書館「チューリップ」という、子ども達が安心して遊べる室内広場を開きました。

どのような活動をされていますか？

ここでは、ボランティアに子どもを見

てもらって、お母さん達がひとときホッとするのも有り。保護者はそばに居るだけでかまいません。健常なお子さんは0歳から入学前が対象。ハンディのある方は特に制限はなく、おもちゃが必要であれば大人になってからでも利用できます。

やりがいを感じていることは？

不特定多数の子どもと遊べるのが、何よりの楽しみです。ちょっとした事で子どもが自信を持つのが分かるし、子どもたちの成長を近くで実感することができます。そして、何よりも子ども達からたくさんの元気をもらっています。

活動するにあたって気をつけていることは？

可愛いからといって突然抱っこしたり、ついたりしないこと。子どもにも不安や恐れがあるので、来るのを待ってから一緒に遊びます。世話を焼き過ぎず、いけない事かどうか子ども達に身をもって体験してもらえよう、ぎりぎりまで見守っています。



はぐくむ
(子育て支援) 習志野市

お母さんたちが自由に交流できる場を提供しています。

習志野市社会福祉協議会秋津支部
「サロンこんにちわ」でボランティアをしている矢作さん

ボランティアを始めたきっかけは？

サロンの立ち上げと同時に、孫を連れて遊びに来たのがきっかけです。このあたりは子どもが少なくて公園デビューもなく、お母さんが外でお友達を作る機会がありません。ここが、お母さんたちのストレス解消の場になれば良いと思っています。

どのような活動をされていますか？

お掃除、受付、日誌など、役割分担は当番制で決まっています。サロンを開ける前は、まずお掃除。その後、遊具を出して準備完了。初めてのお母さんには声かけ誘導もしますが、時間中は見守

ることに徹しています。そして、後片付けをして終了です。

やりがいを感じていることは？

ここで出会ったママ友と、一緒にご飯を食べたり旅行に行ったりして交流を続けている方がたくさんいます。それと、少子化が問題になっていますが、ここに来られるお母さんたちは、二人



目、三人目のお子さんをもうけられる方がとても多いんです。少しは子育ての不安を取り除いてあげられたのかなと、嬉しくなります。それと、私たちも若いお母さんやお子さんから、パワーを頂いています。サロンはスタッフ同士の交流の場ともなっており、楽しく活動を続けられています。

活動するにあたって気をつけていることは？

ケガや病気には特に気を付けています。あと、お子さんに教育的な指導をしないこと。お子さんに注意すると、お母さんが来づらくなってしまいます。絶やさぬ笑顔で、見守り重視を心がけています。

<http://homepage3.nifty.com/shakyoakitu/>



はぐくむ
(子育て支援) 千葉市

「大人が笑えば、子どもも笑う」がモットー。

NPO法人「ちば子ども学研究会」でボランティアをしている中津さん

ボランティアを始めたきっかけは？

千葉市の学童保育スタッフとして働いていたのですが、辞めたあと子どもたちと関わっていききたいとの思いが強かったからです。ですから、ここ以外にも実はさまざまなボランティアに参加してきました。子どもたちと触れ合うこと、笑顔を見ることが、私の元気



の源でもあります。

どのような活動をされていますか？

「大人が笑えば子どもも笑う」がモットー。大人向けの子育て講座と、子ども向けの体験イベントの二つを軸に活動しています。特徴は千葉大学教育学部の藤川大祐教授が顧問をくださっていて大学や行政と連携事業などを行っていること。私たち自身が学びながら、子どもと大人が共に育ちあう地域社会をつくっていくことが目的です。

やりがいを感じていることは？

子どもたちとの交流そのものが、何よ

りのやりがいです。大人とのつきあい方もそうなのですが、私の信条は心の琴線に触れるまでのつきあいをする。関わった全ての人を大切にしたいんです。その分、子どもたちからもうものも大きい。毎日わくわくしながら活動しています。

活動するにあたって気をつけていることは？

まわりをよく見るということでしょうか。ちょっと離れている子がいれば、さりげなくその子に寄り添います。居場所をつくってあげることが大切なのです。大人に対しても、最近見ないなあと思ったら電話してみたり、放っておくことはしないようにしています。

<http://kodomogaku.exblog.jp/>



やしなう
〈青少年の健全育成〉 浦安市

子どもたちの成長を見ているだけで嬉しくなります。

「ボーイスカウト浦安第2団」の隊長をしている古越さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

野外活動を通じて精神も体も強くさせたいと思い、子どもをカブ隊に参加させました。それがきっかけで、保護者役であるデンリーダーから開始し、カブ隊の副長、隊長を経て、ボーイ隊の副長そして、現在は隊長をしています。

どのような活動をされていますか？

ボーイスカウトは、年齢の低い順にビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊、ローバー隊の5つに分かれています。ビーバー隊、カブ隊では指導者が隊員を直接指導することもあります。ボーイ隊になると、指導者は

隊内に編成した異年齢の小集団(これを班と言います)の責任者である班長だけを指導し、指示を与え、班長が班員を指導します。

指導者がボーイスカウト運動を正しく理解し、子どもたちを適切に指導・支援するための研修会や、子どもたちを指導するために必要な技術や手法を学ぶ各種研修会も開催されています。

やりがいを感じていることは？

自分が指導した当時小学生だった子どもたちがすでに成人し、指導者として後輩の面倒を見ています。小さい頃から関わった子どもたちが成人して、立派に社会貢献してくれるのはうれしいですね。

活動するにあたって
気をつけていることは？

指導者として活動面では特に安全面に留意しています。キャンプでは、ナタを使って薪を割り、火を起こします。自分の安全は自分で守れるように、正しい刃物や火の使い方、安全な服装などを、班長を通じて徹底しています。

<http://www.scoutchiba.jp/>



よりそう
〈命を守る〉 千葉市

悲しみや孤独が分かち合えれば良いと思っています。

社会福祉法人「千葉いのちの電話」でボランティアをしている匿名希望さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

子どもが成長し、何かしようと考えていた時に偶然出会ったのが「いのちの電話」の公開講座です。考える指針になるのではないかと、自分のために始めたのがきっかけ。1年半のカリキュラムを経て電話相談員に認定されました。

どのような活動をされていますか？

「千葉いのちの電話」は県内に1カ所。県内各地から相談員が集まり、24時間365日、電話対応しています。月に2回の電話当番の他に、月に1度のグループ研修で自己研鑽を重ねています。電話される方も、受ける私たちも完全匿

名で、受話器をとった時が一期一会の出会いです。

やりがいを感じていることは？

手応えを感じても自己満足だったり、お礼を言われても本当は役に立ってなかったり。電話をかけてくる方はとても繊細で、私たちに合わせてしまう方もいます。私たちも悩みを誰かに話



すことによって癒されますよね。電話をかけてくる方は、たまたま悩みが重なったり、話し相手がいなかったりと、それまでに癒される手段がなかったのだと思います。ゆっくり話を聞くことで、悲しみや孤独が分かち合えれば良いと思っています。

活動するにあたって
気をつけていることは？

電話を介して話しているので、言葉に踊らされないことも大切です。発する言葉のその先に思いをめぐらせ、助けてのサインに気づき、ああでもない、こうでもないと話しながら、本人の力で少しでも心の整理がつけば良いと思っています。

<http://www.chiba-inochi.jp/>



やしなう
〈青少年の健全育成〉 市川市

ひきこもりの人は、自分の才能を社会で発揮する方法を知らないだけ。

NPO法人「セカンドスペース」でボランティアをしているデイヴィッドさん

ボランティアを始めた
きっかけは？

ひきこもりやニートの社会復帰を支援するこの「セカンドスペース」で、英語のボランティアをされていた先生と別のボランティア団体で知り合い、紹介していただきました。

友達の息子さんがひきこもりだったのですが、彼は機械について詳しく、才能がありました。持論ですが、ひきこもりの人は、どうやってそれを社会で発揮すれば良いのか知らないだけ。その手伝いができるようになりたいと思い、この会に参加しました。

どのような活動をされていますか？

本職が英会話教師なので、そのキャリアをいかして子どもたちに英会話を教えています。ひきこもりの方にとって、外国人とのコミュニケーションは日本人より簡単だといわれます。ですから、英会話という手段を通じて、生徒同士でコミュニケーションする機会を多く設けるようにしています。

やりがいを感じていることは？

授業の最初は緊張するもの。それが、だんだんリラックスしてくれれば嬉しい。英語をそんなに習わなくても全くかまいません。楽しかったといってもらえたら、それで満足。英語でも、日本語でも、楽にコミュニケーションできるようにすることが目標です。

活動するにあたって
気をつけていることは？

一般的な英会話では、自己紹介の際には仕事の話はします。ここでは仕事の話はしません。また、家族の話もこちらからすることはありません。彼らが嫌かもしれない話は、しないようにしています。

<http://www.secondspace.jp/>



よりそう
〈命を守る〉 市川市

ひとりでも多く、温かい生活が出来るように願っています。

認定NPO法人「市川ガンバの会」でボランティアをしている伊東さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

仕事の関係もあって、行徳で路上生活をしていました。平成23年4月頃にホームレス支援をしているガンバの会に声をかけられ、今は会の近くのアパートで生活保護を受けながら暮らしています。その年7月頃から、ボランティアとして夜間パトロールに参加するようになりました。

どのような活動をされていますか？

夜間パトロールは第一と第三、第五の金曜日。午後4時に来て、米を計ってご飯をたき、おにぎりをにぎって、パトロールに出かけます。おにぎりの他に

も、カイロや医薬品、衣類なども持って行って欲しい人にあげます。また、朝は同じくアパート生活をはじめた人たちの家を訪問します。部屋の整理整頓についてアドバイスしたりもします。その後は、ガンバの会に顔を出して、仲間との交流を深めています。

やりがいを感じていることは？

夜間パトロール中に、初めて参加されたボランティアの人と話をするのが楽しいです。昔に比べて、ホームレスの人が大分減ってきましたが、路上生活をしてきた経験から、夏よりも冬が厳しいので、ひとりでも多く温かい生活が出来るように願って活動しています。

活動するにあたって
気をつけていることは？

身だしなみに気をつけています。自分自身でも毎日お風呂に入り、洗濯をして、部屋の整理整頓を心がけています。アパート訪問の際に部屋を片付けるようアドバイスすることもあるので、自ら率先するようにしています。

<http://ichikawaganba.fc2web.com/>





つきあう
(外国人の子ども支援) 松戸市

私たちは教えているのではなく、教わっているのです。

NPO法人「外国人の子どものための勉強会」の理事長をしている海老名さん

ボランティアを始めたきっかけは？

親の都合で来日し、いきなり日本の学校に通うことになった子どもたちは、勉強についていけなかったり、とけ込めなかったり、さまざまな悩みを抱えています。円形脱毛症になる子どももいると聞いて、これではいけない、何かできることはないかと思い、この活動を始めました。

どのような活動をされていますか？

日本の小中学校に通う外国人の子どもたちに対して、日本語や学校の勉強などを教える教室を、常盤平と松戸で週に数回開いています。教室は、子ども

一人にスタッフ一人というマンツーマンスタイル。勉強だけでなく日々の生活に必要な情報の提供や進学相談など、さまざまな支援も行なっています。

やりがいを感じていることは？

やっぱり、子どもたちの成長を見ること。東日本大震災の後、親は日本に残っ



て、まだ1歳半の妹とふたりで故郷のサハリンに帰った中学生がいました。小さい子のお守りをしながら、札幌まで行ってピザを取って海をわたるといふ日本人でも難しい手続きを、一人でやりとげたと聞いた時は、びっくりして感激しましたね。

活動するにあたって気をつけていることは？

覚えが悪かったり、約束の時間に来ないことなどに、イライラしないこと。価値観や考え方がそもそも違いますから。私たちは子どもたちから教わることもたくさんあります。教えるのではなく教わりに来てるんだ、と思うと、すべてが面白くなりますよ。

<http://www.011.upp.so-net.ne.jp/forienchild/>



ふるさと
(環境保全) 市原市

森を絆が生まれるような人々の居場所にして行きたい。

「市原米沢の森を考える会」の代表をしている鶴岡さん

ボランティアを始めたきっかけは？

定年前の平成14年、堺屋太一氏の講演で「60歳を過ぎたら自分の好きなことをしなさい」と教えられました。米沢の森の宅地開発凍結が決まったこともあり、約100haあるこの森を昔のように人々が集まる場所にしようと、地元の数人と会を立ち上げました。

どのような活動をされていますか？

私が子どもの頃からのシンボルツリーだった行人塚の山桜が枯れかかっていたので、これを守ろうということから活動を始めました。チェーンソーやのこぎり、鋤などを

持って森に入り、江戸へと続いていた古道などの整備を続けています。また、70・80代の人がかすかに覚えていること、専門家の調査で分かったことを、次の世代へと残すための活動も行っています。森の山頂の眺望は素晴らしく、天気の良い日は富士山や関東平野を取り囲む山々が見えます。森林セラピーという言葉があるように、皆さんが集う憩いの場・自然観察の場になったら素晴らしいと思っています。

やりがいを感じていることは？

みんなに支えられていること、みんなの知識・技能が集まって、この会が続いています。最近では、売上げの何%か

を米沢の森に寄付してくれるという飲食店も増えてきました。

活動するにあたって気をつけていることは？

出来る人が、出来る時に、出来る事を、焦らず、気長に、がモットー。無理をせず、個人の力量に応じて、長く続けるということが大事。



つたえる
(歴史・まちづくり) 南房総市

南房総独特のくじら文化を未来に語り継ぎます。

「和田浦くじら食文化研究会 おかみさんの会」の代表をしている橋本さん

ボランティアを始めたきっかけは？

南房総市和田町には、関東唯一の捕鯨基地があり、かつてはくじらのまちとして知られていました。それが、昭和62年(1987年)に商業捕鯨が一時停止されると、わずかな頭数を捕獲する調査捕鯨しか許されず、くじら漁が盛ん



だった南房総でも、くじら肉を見たことも食べたこともないという人が増えていました。そこで、平成19年に南房総市の飲食店のおかみさんを中心に、和田浦くじら食文化研究会「おかみさんの会」を結成しました。

どのような活動をされていますか？

イベントを開催して、くじら文化の啓蒙とくじら料理の普及に取り組んでいます。

「くじら料理と月見の会」や「くじら料理を楽しむ会」を開催し、新しいくじら料理の開発とあわせて、地域の人々や観光客の方々においしいくじら料理を召し上がっていただくための機会をご提供しています。また、地域で行わ

れるイベントへの参加を通じて、くじらのおいしさを多くの方々に知っていただく活動をしています。

やりがいを感じていることは？

地域に支えられていること。お陰で、ここまで来れました。

活動するにあたって気をつけていることは？

リーダーの人には、それなりの権限が与えられているので、それを全うすること。いろいろな意見を聞いてリーダーが揺れると、下はもっと揺れてしまう。だから、私自身が当初の思いを貫き、ぶれないようにしています。

<http://www.awa.or.jp/home/kujira-o/>



ふるさと
(環境保全) いすみ市

私を突き動かしているのは、誰にも負けない郷土愛です。

NPO「太東埼燈台クラブ」の理事長をしている橋本さん

ボランティアを始めたきっかけは？

太東埼燈台クラブの前身は、太東埼燈台美観促進会です。昭和40年代に燈台守がいなくなり、荒れてしまった燈台周辺を地元の人たちで整備しようと、吉野栄さんが立ち上げました。その会に、私の祖父、父と母も参加。人手が足りないからと、平成12年にたまたま手



伝いに来たのがボランティアをはじめたきっかけです。ボランティアさんの熱意に感動し、平成16年から本腰を入れて事務局に参加しています。

どのような活動をされていますか？

定期的に草刈りや清掃を続けています。平成17年からは、いすみ市民ガイドを立ち上げ、環境保全と観光開発のまちづくり団体として活動しています。このすばらしい景観を多くの人に見ていただくために、毎年5月4日に「燈台まつり」を開催しています。太平洋に向かって叫ぶ「絶叫大会」は人気イベントです。また、次世代に保全活動を伝えたいとの思いから、「みんなでつくる花咲く燈台」をテーマに小学生の

花植えイベントも開催しました。

やりがいを感じていることは？

ここを訪れる人が増えていることです。土日は200人くらい、大型バスが6台来たこともあります。平成22年の燈台記念日に「海上保安庁長官賞」をいただきました。民間で燈台を守っているのは、日本でここだけだそうです。

活動するにあたって気をつけていることは？

出来ることを出来るときに、楽しくできるように心がけています。ボランティアですから、強制はしないようにしています。

<http://www.taito-todai.jp/>



暮らしを守る
(防犯・防災)



印旛郡
栄町

声かけと挨拶で、地域の輪が広がってきました。

「けやきの会」の代表をしている山本さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

会社を定年退職し、時間をもてあましていた時に、自治会で福祉ボランティアを募集しているのを知って応募しました。この時に集まった18名で話し合った結果、地域の方々が安全に、安心して暮らせるようにと願って、それぞれに赤色誘導灯と緑色の防犯パトロール用のベストを付けてパトロールを始めました。

どのような活動をされていますか？

今では、町内の老人会「あじき台寿会」も加わり、夕暮れ時の1時間、和気あいあいと町内をパトロールしています。

人の目が犯罪抑止につながりますから、腕章を付けて犬の散歩をするワンワンパトロールにも多くの方が参加しています。他にも、小学校の通学路での交通誘導、多世代交流のサロンも開催しています。

やりがいを感じていることは？

ここは都心から移り住んできた人が多く、まさに「隣は何をする人ぞ」といった具合でした。こういう会を作ったことで、だんだんと顔が知れ渡って、地域の輪が広がってくるのを感じています。「ご苦労様です」と声をかけてもらうことも多く、こちらも進んで挨拶をしています。定年退職したら仲間に入りたいと、自ら進んで参加してくれた

人もいます。

活動するにあたって
気をつけていることは？

暗くなって遊んでいる子どもや見慣れない人には、積極的に声かけを行っています。また、高齢者が多いので、石につまずいたり車にぶつかったりしないよう、自分たちの安全を確保しながら活動を続けています。



暮らしを守る
(防犯・防災)



佐倉市

地域密着型にこだわった防災活動を展開。

「佐倉市の防災を考える会」の代表をしている小澤さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

千葉県災害対策コーディネーターの講習会を受け、これを地元で生かせないかと考えたことがきっかけ。防災関連の活動は、自治会などの狭い範囲か、県単位以上の広域かのどちらかで、市単位での地域密着型の活動が少ないのです。佐倉市は昔から防災意識が低く、啓発活動も必要と思ったものからです。

どのような活動をされていますか？

2か月に一回程度の例会で防災情報を交換し、防災に関する知識やスキルを向上させながら、地域の防災活動に協

力・連携して活動しています。例えば市や町の防災訓練などではロープワークや三角巾の使い方、応急搬送の知識を教えたり、水の重さを体験してもらって備蓄の重要性を訴えたり、さまざまな活動をしています。

やりがいを感じていることは？

自治会などの防災訓練をお手伝いした



ときに、去年より参加者が多かったですなどと聞くとやっぱりうれしい。防災に関心を持つ人が増えることが、そのままやりがいになります。また、この活動を通して、いろんな出会いがあり、学びがある。これも大きなやりがいです。

活動するにあたって
気をつけていることは？

防災活動を一生懸命にやればやるほど、皆の意識が低いなどと思ってしまうがちですが、そこで無理強いしたり、押し付けたりしてはいけません。防災は絆が大切です。相手の気分を害することなく、人と人の調和を大切にすることを常に意識しています。

<http://sakurabousai.web.fc2.com/>



ふれあい
(地域福祉)



松戸市

常連の方が何日かおみえにならないと心配になります。

常盤平団地地区社会福祉協議会

360日型「いきいきサロン」でボランティアをしている藤原さんと大和田さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

〈大和田〉常盤平団地自治会の生活部に所属しているのがきっかけで、サロンの開設とともにボランティアを始めました。

〈藤原〉8年ほど前、松戸市の母子推進委員をしていました。その後、常盤平団地自治会の評議委員になり、開設にあたって声をかけていただきました。お手伝いを始めたのはオープン後1年くらいだった頃からです。

どのような活動をされていますか？

11時開店なので、その前にお掃除をして、お客様が見えたらお茶やコーヒー

をお出しします。開設して6年目なので、決まった時間に利用される常連の方もたくさんいます。そういう方が何日かお見えにならないと心配になり、街で見かけると声をかけたりもします。

やりがいを感じていることは？

〈大和田〉当番の日はお弁当を作ったりして、楽しく過ごしています。



〈藤原〉レギュラーコーヒーをいれているので「コーヒーがおいしかった」と言われると嬉しいです。お客様とあまりおしゃべりはしないのですが、一人で来られた方とはお話することもあり、いろいろと勉強になる良い話を聞かせてもらっています。

活動するにあたって
気をつけていることは？

〈大和田〉言葉づかいに気をつけ、余計なおしゃべりはしないように気をつけています。

〈藤原〉担当の日には休まないよう、仲間に迷惑をかけないように、体調管理に気を付けています。明るい雰囲気でお客様が利用しやすいよう務めています。

<http://www.ne.jp/asahi/toki/jiti/>



ふれあい
(地域福祉)



市原市

何も特別な事じゃない、できることをやっているだけ。

「牛久小学校区小域福祉ネットワーク」でボランティアをしている中さん

ボランティアを始めた
きっかけは？

牛久小学校区小域福祉ネットワークは、設立して約5年。町会・民生委員・消防団・老人クラブ・牛久小とPTA・商店会・防犯協会など、牛久小学校区内の各種団体が一丸となって支えあい・助けあう地域コミュニティです。私は町会の関係で、メンバーの一員になりました。

どのような活動をされていますか？

会は、環境部会・青少年部会・高齢者部会の3部会で推進していますが、横の連携も密接。私は環境部会の会長ですが、高齢者のお宅を訪問する安心訪問

員もやっています。他にも、小学生の登下校の見守り、田植えや稲刈りなどの小学生の農業体験、農地水保全隊として小学生と休耕田に花を植えたりもします。春は菜の花、夏はヒマワリを植え、秋のそば打ち大会では、ヒマワリの油を使って天ぷらを揚げました。

やりがいを感じていることは？

児童の登下校を見守る防犯パトロールは22人いて、一緒に歩いたり、交通整理をしています。私がはじめて約10年。大きい子は、もう高校生や大学生です。久しぶりに会うとあいさつがすごく、涙が出そうになる時があります。防犯のためだけじゃなく、子ども達とのつながりを感じます。

活動するにあたって
気をつけていることは？

個人宅を訪問するので、個人情報について気をつけています。それと、言葉ひとつ、行動ひとつにおいても平等に接するようにしています。それが、この会の信頼につながると思っています。



連携と協働で

「つながって、みんなで支えるボランティア」

◎地域がかかえる課題の解決を目指して

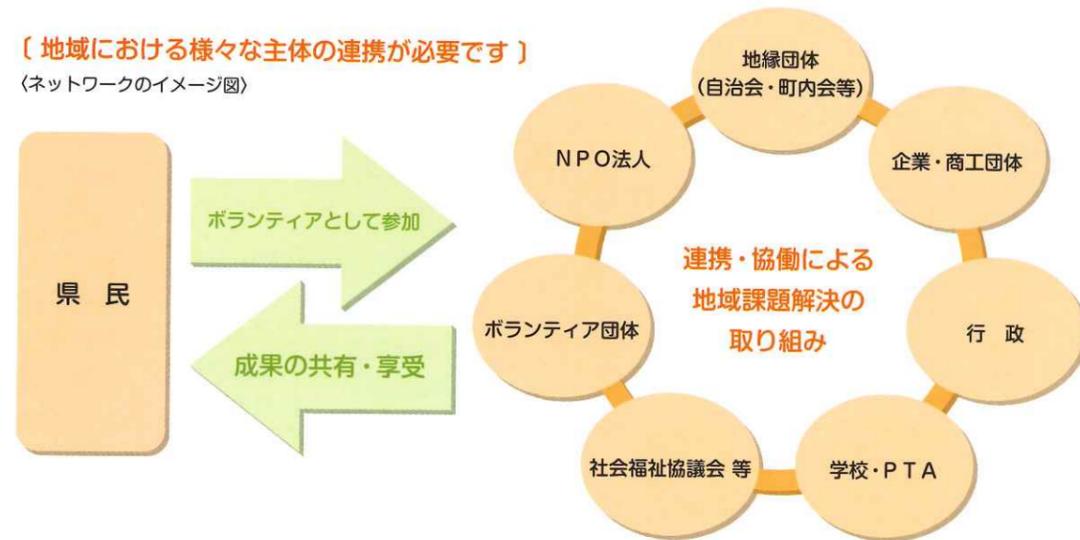
ボランティアの方々が参加するNPO法人やボランティア団体、社会福祉法人や任意団体などの団体の多くが、福祉、環境、防犯、防災など、自らの目的や使命を明確にして活動していることは、ボランティアの人たちの生の声（P5～16に掲載）で感じ取っていただけたことと思います。

一方で地域における課題は多様であり、一人ひとりの暮らしの現場では、それらが複雑にからみあっています。生活が都市化し、高齢者世帯の多い地区が増えてくる中で、従来型の地縁組織だけではこうした問題を支えきれません。各団体が熱心に活動しても、個別のままでは問題の解決に結びつかないのが実情です。

そこで、様々なテーマをもつ多くの団体が相互に連携し、ネットワークを組んで地域全体の問題に取り組んでいくことがとても重要になってきています。なお、P16で紹介した2事例は、「地域福祉」の考え方にに基づき、制度による福祉がカバーしきれない課題に対応して、様々な主体の連携協力による「助け合い、支え合い」を実践している事例です。



【地域における様々な主体の連携が必要です】
〈ネットワークのイメージ図〉



これからボランティア活動に参加するあなた一人の力はそれほど大きくはないかもしれませんが、でも、それが参加する団体の力となり、団体がネットワークでつながることにより、一人ひとりの力が合わさって地域全体を支えることになるのです。

◎千葉県としての取り組み

千葉県では、地域福祉フォーラム（※1）や連携・協働により地域課題を解決するためのモデル事業（※2）等といった事業を通じて、こうした地域における様々な主体の連携による地域の課題解決の取り組みを応援しています。

（※1）地域住民が、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の団体、NPO等の地域福祉の担い手、さらには就労、教育、防災、防犯をはじめとする福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織。

（※2）地域コミュニティにおいて地域の多様な主体が、対等な立場で合意形成していくための仕組みを構築しながら、その仕組みを通じて課題解決に取り組むモデル事業。



実際に、ボランティアを始める前に知っておきたい 「ボランティアの心得」

◎できることから、無理をしない

自分の身の回りを見まわし、気がついたことから手がけて足もとを固め、自信がいたら徐々に大きな課題に取り組んでいくことが大切です。また、活動は無理をすると長続きしません。ボランティア活動は継続することが信頼につながります。もし、自分には無理だと思ったら、断る勇気を持つことも必要です。

◎相手の立場に立つ

ボランティア活動はひとりよがりをするものではありません。相手の思いや願いに根ざし、相手の身になって活動するものです。常に相手の立場に立ち、活動への反省を怠らず、立ち止まりながら進めていくことが必要です。

◎約束・秘密を守る

ボランティア活動は相手との信頼関係をいかに構築するかにかかっていると言っても過言ではありません。訪問日時や援助内容の約束は言うに及ばず、ささいな会話の中で交わした約束ごとは小さなことでも必ず守ることが大切です。また、ボランティア活動は助け合いを基調とするため、どうしても相手のことをよく知っておく必要があり、活動を通じていろいろと知り得る事柄が増えていきます。プライバシーを尊重するのはもちろんのこと、秘密を守ることはお互いの信頼につながります。

◎まわりの理解と協力を得る

ボランティアを求める相手に日程を合わせて活動しなければならぬこともあり、休日であったり長時間にわたる場合も出てきます。必然的に家を空けることも多くなるので、家族の理解も大切になります。そして、活動を継続するためにも、家庭や仕事を犠牲にした活動とならぬよう、十分周囲の理解を得てから取り組むことが大切です。

◎謙虚になろう

ボランティアはあくまでもお手伝いをする「協力者」であり「援助者」です。何のための活動なのか、まわりの人の立場や気持ちを考えながら、時には自分の活動を振り返ってみることも大切です。

◎学びを大切にしよう

ボランティア活動は「してやる」活動ではありません。善意の押し付けは、相手にとって迷惑になるだけでなく、何よりも不愉快な気分させてしまいます。ボランティアは対等な人間関係の上に成り立つ活動で、活動を通じて相手から学ぶ双方向的な活動であるところに特徴があります。

◎安全対策に注意しよう（ボランティア保険／P19へ）

ボランティア活動だからといって安全対策を怠ってはいけません。活動内容の点検、潜在的な危険の予知、緊急時の処置方法、用具の確認、適切な人員配置、そして保険への加入など安全対策も必要です。

！ 災害時ボランティアの注意点

災害時ボランティアは自己完結が原則

災害時のボランティア活動は通常とは異なり、水や食料、寝泊まりする場所さえままならないことがあり、自己完結が必須となります。活動内容は、避難所や災害ボランティアセンターなどの拠点を中心として、住民の安否確認、高齢者・障がい者、子どもの世話、救援物資の配布、炊き出しの手伝い、情報提供など多岐にわたります。

時期に応じてボランティア活動も変化

一般ボランティアの活動は、消防や自衛隊等による救命救急期（3日間位）が過ぎた頃から始まります。初期の生活支援期では、避難所の運営や瓦礫の処理などが主となります。その後の復旧・復興期では街づくりと共に仮設住宅で暮らす人々のケアも大切になります。※ボランティアの活動内容は災害の種類（震災・台風等）によっても異なります。

後方支援のボランティア活動もあります

直接現地に行かなくてもできるボランティアはたくさんあります。必要となる救援物資のとりまとめや送付、公的機関を通じての義援金、現地ボランティアを支援する基金への寄付も大切な後方支援です。



「ボランティア保険」と「市民活動補償制度」

ボランティア活動が安心して行えるよう、ケガや事故、損害賠償を補償する各種「ボランティア保険」が用意されています。また、住民の方々がボランティア活動や自治会活動などを行っているときに起こった事故を補償する「市民活動補償制度」を設ける市町村も増えてきています。



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

ぜひご加入ください!! ボランティア活動保険

ケガや事故などの傷害と賠償責任を補償するボランティア自身のための保険です。安全・安心のために、ぜひ加入されることをおすすめします。

詳しくは、市町村社会福祉協議会、ボランティアセンター(P21~22掲載)に問い合わせてね。



- ✦ ボランティア活動中や往復途上の事故によりボランティア自身がケガをした。
- ✦ ボランティア活動中の思いがけない事故により、他人の身体や持ち物等に損害を与えてしまった。
- ✦ ボランティア自身が食中毒・熱中症・特定感染症になってしまった。
- ✦ ボランティア活動のための学習会・会議などで事故にあってしまった。等

団体保険 NPO法人やボランティア団体が加入している団体保険(一例)

万一の場合に備えて、活動内容に応じた団体加入のボランティア保険があります。個人での加入はできませんが、ボランティア活動を行う上での安全・安心の指標となるので、名称だけでも覚えておくとい良いでしょう。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償します。

- 行事参加者全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任を補償 等

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中での自動車事故などによるケガを補償します。

- 送迎・移送サービスの利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン 等

各市町村でご確認ください!! 市民活動補償制度

市(町村)民の方々がボランティア活動や自治会活動など、公益性のある活動や行事などに対し、市(町村)があらかじめ保険料を負担し、活動中に発生した事故や賠償責任に対して市(町村)が補償する制度です。

〈お住まいの市町村で予めご確認ください〉

- 市民活動補償制度が確立されていない市町村もあります。
- 市民活動総合補償制度、市民活動災害補償制度など、名称が若干異なる場合があります。
- 補償の対象となる活動や利用方法については、各市町村で異なる場合があります。

「寄付」もひとつのボランティア活動

「ボランティア活動」というと、高齢者や障がい者の支援、地域の清掃活動、被災地の支援など、主として体や頭を動かす活動を思い起すと思います。確かにそのとおりなのですが、実は「寄付」も「自発的に行う社会貢献活動」であることに違いはありません。「ボランティアはしたいけど、なかなか時間がなくて…」、「重労働は無理」という方でも、気軽に参加できるのが寄付です。額の多寡は問題ではありません。あなたの「思い」を、できることから地域に届けましょう。寄付には様々な窓口があり、直接活動団体に寄付する方法もありますが、ここでは、県内の代表的な募金窓口をご紹介します。



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

ちばのWA地域づくり基金

「公益ポータルサイトちばのWA!」に登録し、団体情報・活動情報を積極的に公開している信頼性の高い団体を支援対象に寄付できる様々なプログラムを設置。あなたが「共感」し、支援したいと思えるプログラムを見つけて寄付することができます。



ちばのWA地域づくり基金
<http://chibanowafund.org/>

〔千葉県内の地域づくり活動を支援する様々なプログラム〕

地域づくり活動する団体を選んで寄付 事業指定プログラム

応援したい特定の事業を選んで寄付できるプログラムです。

テーマや地域を選んで寄付 テーマ・地域型基金

関心のあるテーマ、地域に対して寄付できるプログラムです。

オリジナルプログラムをつくって寄付 冠ファンド

50万円以上の寄付については、寄付者オリジナルの助成金プログラムをつくることができます。

物品提供システム「NPO三尺店」

地域活動に役立てて欲しい資源を仲介します。事務什器・パソコン・プリンター等を提供したい、空き店舗・空き家・遊休農地等を活用して欲しいなど、地域活動に役立てて欲しい資源の情報をいただき、必要とする団体に仲介します。

〔ちばのWA地域づくり基金専用口座〕

右記の口座で、随時寄付を受け付けております。

ゆうちょ銀行 〇五八(ゼロゴハチ)店 普通 5474190

名義：一般財団法人ちばのWA地域づくり基金

■ 問合せ先／一般財団法人ちばのWA地域づくり基金 〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 電話・FAX:043-270-4640 Eメール:info@chibanowafund.org

赤い羽根共同募金

～あなたの募金は、あなたの町へ～

集められた寄付金は、社会福祉協議会や福祉施設・福祉団体(NPO法人を含む)等に配分され、福祉向上に役立っています。共同募金は、寄付したまちで約7割が活かされています。地域のボランティア団体の活動や、東日本大震災の際は災害ボランティア支援にも活用されました。

千葉県共同募金会では、平成23年度から使途選択募金(寄付者が使いみちを選べる募金)を導入しており、被災地支援、ホームレス支援、子育て支援、認知症対策などに取り組む団体に、直接お金を届けることができる取り組みもはじまっています。



千葉県共同募金会
<http://www.akaihane-chiba.jp/>

※募金方法については、ホームページをご覧ください。

〔千葉県共同募金会 寄付金口座〕

振込手数料はかかりません。随時寄付を受け付けております。

郵便振替：00100-4-22297

加入者名：社会福祉法人 千葉県共同募金会

■ 問合せ先／(社福)千葉県共同募金会 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 電話:043-245-1721 FAX:043-242-3338

自分にあったボランティア活動を見つけよう!!

ボランティアに関する情報提供やボランティア希望の相談に応じています。



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

「ボランティアセンター」一覧 千葉県内の社会福祉協議会、教育委員会が開設しているボランティアセンター（窓口）の一覧です。（平成25年1月1日現在の情報です）

名称	住所	電話番号
千葉県ボランティア・市民活動センター	千葉市中央区千葉港4-3	043-204-6010
さわやかちば県民プラザ千葉県体験活動ボランティア活動支援センター	柏市柏の葉4-3-1 さわやかちば県民プラザ内	04-7135-2200
千葉市ボランティアセンター	千葉市中央区千葉寺町1208-2 千葉市ハーモニープラザB棟3階	043-209-8850
中央区ボランティアセンター	千葉市中央区中央4-5-1 Qiball（きぼーる）11階	043-221-2177
花見川区ボランティアセンター	千葉市花見川区瑞穂1-1 花見川保健福祉センター 3階	043-275-6438
稲毛区ボランティアセンター	千葉市稲毛区穴川4-12-4 稲毛保健福祉センター 3階	043-284-6160
若葉区ボランティアセンター	千葉市若葉区貝塚町2-19-1 若葉保健福祉センター 4階	043-233-8181
緑区ボランティアセンター	千葉市緑区鎌取町226-1 緑保健福祉センター 2階	043-292-8185
美浜区ボランティアセンター	千葉市美浜区真砂5-15-2 美浜保健福祉センター 2階	043-278-3252
ちば生涯学習ボランティアセンター	千葉市中央区弁天3丁目7番7号 千葉市生涯学習センター内	043-207-5815
市原市市民活動センター	市原市五井中央西2-22-4	0436-20-3100
市川市社会福祉協議会 地域福祉・ボランティアセンター	市川市東大和田1-2-10	047-320-4002
市川市行徳ボランティアセンター	市川市末広1-1-31 行徳支所2階	047-356-0007
船橋市ボランティアセンター	船橋市本町2-7-8 船橋市福祉ビル3階	047-431-8808
習志野市ボランティア・市民活動センター	習志野市秋津3-4-1	047-451-7899
八千代市社会福祉協議会八千代市ボランティアセンター	八千代市大和田新田312-5 八千代市福祉センター内	047-483-3021
浦安市社会福祉協議会 ボランティアセンター	浦安市東野1-7-1 総合福祉センター 2階	047-380-8864
松戸市社会福祉協議会地域福祉推進センターボランティアセンター	松戸市上矢切299-1	047-362-5963
野田市社会福祉協議会野田市ボランティアセンター	野田市鶴奉5-1 野田市総合福祉会館内	04-7124-3939
柏市社会福祉協議会ボランティアセンター	柏市柏5-8-12	04-7165-0880
流山市ボランティアセンター	流山市平和台2-1-2 流山市ケアセンター 3階	04-7159-4939
我孫子市社会福祉協議会ボランティア・市民活動相談窓口	我孫子市本町3-1-2 けやきプラザ10階 あびこ市民活動ステーション内	04-7185-5233
鎌ヶ谷市社会福祉協議会 鎌ヶ谷市ボランティアセンター	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1	047-442-2940
成田市社会福祉協議会ボランティアセンター	成田市赤坂1-3-1	0476-27-8010
成田市子どもセンター	成田市加良部3-3-1	0476-27-9611
佐倉市ボランティアセンター	佐倉市海隣寺町87	043-484-6198
四街道市ボランティアセンター	四街道市鹿渡無番地	043-421-6300
八街市社会福祉協議会 八街市ボランティアセンター	八街市八街は35-29 市総合保健福祉センター 3階	043-443-1411
印西市ボランティアセンター	印西市竹袋614-9	0476-42-0294
白井市ボランティアセンター	白井市復1123 白井市保健福祉センター 3階	047-492-5716
富里市社会福祉協議会 富里市ボランティアセンター	富里市七栄653-2 富里市福祉センター内	0476-92-8221
酒々井町社会福祉協議会	印旛郡酒々井町中央1-28-8	043-496-6635
栄町社会福祉協議会	印旛郡栄町安食台1-2	0476-95-1100
銚子市社会福祉協議会	銚子市若宮町4-8 銚子市保健福祉センター内	0479-24-8189
旭市社会福祉協議会	旭市横根3520 旭市保健福祉センター内	0479-57-5577
匝瑳市社会福祉協議会 匝瑳市ボランティアセンター	匝瑳市八日市場ハ793-35 市民ふれあいセンター内	0479-73-0759
香取市ボランティアセンター	香取市佐原口2116-1	0478-54-4410
香取市生涯学習人材バンク推進協議会	香取市佐原口2127 香取市役所内	0478-50-1224
神崎町社会福祉協議会	香取郡神崎町神崎本宿96	0478-72-4031
多古町社会福祉協議会	香取郡多古町多古777-1	0479-76-5940
東庄町ボランティアセンター	香取郡東庄町石出2692-4 東庄町社会福祉協議会事務所内	0478-86-4714

東金市ボランティア・市民活動センター	東金市田間421 ふれあいセンター 2階	0475-52-5198
山武市ボランティア・市民活動センター	山武市埴谷1868-14 山武福祉センター内	0475-89-2121
大網白里市社会福祉協議会	大網白里市大網131-2・133合併1	0475-72-1995
九十九里町社会福祉協議会	山武郡九十九里町片貝2910	0475-70-3163
芝山町社会福祉協議会	山武郡芝山町飯櫃126-1 芝山町福祉センターやすらぎの里内	0479-78-0850
横芝光町社会福祉協議会	山武郡横芝光町宮川11902	0479-80-3611
茂原市ボランティアセンター	茂原市町保13-20 茂原市総合市民センター内	0475-23-1969
勝浦市社会福祉協議会 勝浦市ボランティアセンター	勝浦市串浜1191-1	0470-73-6101
いすみ市社会福祉協議会	いすみ市岬町東中滝720-1 ふれあい会館内	0470-87-8857
一宮町ボランティアセンター	長生郡一宮町一宮1865	0475-42-3424
睦沢町社会福祉協議会	長生郡睦沢町上市場921-1	0475-44-2514
長生村ボランティアセンター	長生郡長生村本郷1-77 長生村総合福祉センター内	0475-32-3391
白子町ボランティアセンター	長生郡白子町関92	0475-33-5746
長柄町社会福祉協議会	長生郡長柄町桜谷712	0475-30-7200
長南町社会福祉協議会	長生郡長南町長南2110	0475-46-3391
大多喜町社会福祉協議会	夷隅郡大多喜町新丁163	0470-82-4969
御宿町社会福祉協議会 御宿町ボランティアセンター	夷隅郡御宿町久保1135-1	0470-68-6725
館山市ボランティア連絡協議会（館山市社会福祉協議会）	館山市北条402市役所4号館内	0470-23-5068
木更津市ボランティアセンター	木更津市潮見2-9	0438-25-2089
鴨川市社会福祉協議会 鴨川市ボランティアセンター	鴨川市八色887-1 ふれあいセンター 2階	04-7093-0606
君津市社会福祉協議会 君津市ボランティアセンター	君津市久保3-1-1 君津市保健福祉センター「ふれあい館」3階	0439-55-0294
富津市ボランティアセンター	富津市下飯野2443	0439-87-9611
袖ヶ浦市社会福祉協議会 袖ヶ浦市ボランティアセンター	袖ヶ浦市飯富1604 袖ヶ浦市社会福祉センター内	0438-63-3988
南房総市社会福祉協議会ボランティアセンター	南房総市千倉町瀬戸2705-6	0470-44-3577
鋸南町ボランティアセンター	安房郡鋸南町保田560	0470-50-1174

「市町村市民活動支援センター」一覧 （平成25年1月1日現在の情報です）

名称	住所	電話番号
ちば市民活力創造プラザ	千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館9階	043-227-3081
市原市市民活動センター	市原市五井中央西2-22-4	0436-20-3100
市川市ボランティア・NPO活動センター	市川市八幡3-4-1 アクス本八幡2階	047-326-1284
ボランティア・NPO活動センター行徳	市川市末広1-1-31 行徳支所2階	047-359-1146
船橋市市民活動サポートセンター	船橋市本町1-3-1 フェイスビル5階	047-423-3483
習志野市市民協働インフォメーションルーム	習志野市津田沼5-12-12	047-453-9337
八千代市市民活動サポートセンター	八千代市ゆりのき台5-30-6	047-481-3222
浦安市市民活動センター	浦安市北栄1-1-16	047-305-1721
まつど市民活動サポートセンター	松戸市上矢切299-1	047-365-5522
柏市市民活動センター	柏市柏1-5-18	04-7163-1143
流山市市民活動推進センター	流山市中110C館3階	04-7150-4355
あびこ市民活動ステーション	我孫子市本町3-1-2 けやきプラザ10階	04-7165-4370
鎌ヶ谷市市民活動推進センター	鎌ヶ谷市富岡2-6-1 まなび、プラザ1階	047-401-0891
佐倉市市民公益活動サポートセンター	佐倉市錦木町198-2 レインボープラザ佐倉内	043-484-6686
四街道市みんなで地域づくりセンター	四街道市大日396 文化センター 1階	043-304-7065
印西市市民活動支援センター	印西市中央南1-4-1 中央駅前地域交流館2号館	0476-48-4500
白井市市民活動推進センター	白井市堀込1-2-2	047-498-0705
栄町住民活動支援センター	印旛郡栄町安食938-1	0476-80-1733
山武市市民交流サロン	山武市殿台296	0475-80-0151
さんぶの森市民交流サロン	山武市埴谷1884-1	0475-89-3630
君津市市民活動支援センター	君津市久保2-13-3	0439-56-1543